

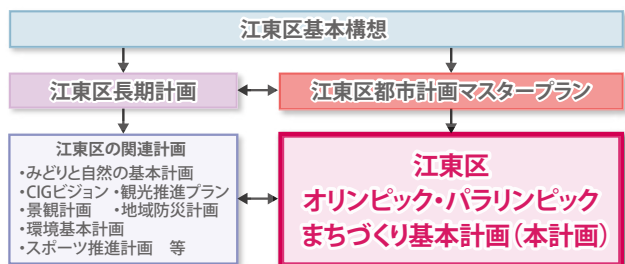
## 1 本計画について

### 計画の背景と目的

江東区では、江東区の最大の魅力である「水とみどり」、そして、東京湾に広く開かれたウォーターフロントの特色を生かしたまちづくりを推進してきました。2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることになり、江東湾岸エリアにも多くの競技場が配置されます。

オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、今後、数多くの施設や交通インフラ、公園や緑地など様々な施設整備や運用の取り組みが行われます。これらを一過性のもので終わらせるのではなく、未永く未来に継承していくことが重要です。また、パラリンピックの開催にあたり、障害のある選手や役員、観客を国内外から多く迎えるため、駅や競技場周辺だけでなく、広範囲でユニバーサルデザインの視点に立った快適なまちづくりを加速させることも必要です。

こうした背景から、東京オリンピック・パラリンピックによって、大きく変貌する江東区の都市像を示すことで、開催後も持続的に発展していくよう、オリンピック・パラリンピックまちづくり基本計画を策定します。



本計画の位置づけ

### 計画エリア

本計画は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技場周辺を「江東湾岸エリア」、これ以外の下町の伝統が息づく地区を「深川・城東エリア」とします。

江東湾岸エリアのまちづくり効果を深川・城東エリアへと波及させていくため、区内全域を計画エリアとします。

※江東湾岸エリア：主に有明北、有明南、豊洲、辰巳、夢の島、新木場、若洲、中央防波堤地区を総称するエリア。

※深川・城東エリア：江東湾岸エリア以外を総称するエリア。

※中央防波堤地区については、江東湾岸エリアに含まれています。



計画エリア

### 計画の期間

本計画は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を経て、オリンピック・パラリンピックレガシーを生かしたまちづくりが進むと想定される、概ね10年後の2030年までを計画期間とします。

### 計画の構成

#### 江東湾岸エリアの目指すべき都市像

スポーツを存分に堪能できる  
「国際スポーツ都市」

万が一の場合にも安全に過ごせる  
「先進防災都市」

新しい文化を発信する  
「国際観光都市」

#### 江東湾岸エリアの3つのゾーンと目標

有明北・有明南・豊洲地区  
「国際居住・観光ゾーン」

辰巳・夢の島・新木場地区  
「スマートな環境エネルギーゾーン」

若洲・中央防波堤地区  
「オアシスゾーン」

#### 江東湾岸エリアの10の視点とその方針

|                |                 |                   |                      |
|----------------|-----------------|-------------------|----------------------|
| 土地<br>利用       | 視点1<br>土地利用     | 防災                | 視点6<br>防災            |
| みどり            | 視点2<br>みどり      | 環境・<br>エネルギー      | 視点7<br>環境・エネルギー      |
| 水辺             | 視点3<br>水辺       | スポーツ・<br>レクリエーション | 視点8<br>スポーツ・レクリエーション |
| 歴史<br>文化<br>観光 | 視点4<br>歴史・文化・観光 | 交通                | 視点9<br>交通            |
| 景観             | 視点5<br>景観       | UD                | 視点10<br>ユニバーサルデザイン   |

#### 区内全域への波及効果

江東湾岸エリアの10の視点のうち、「みどり」「景観」「防災」「スポーツ・レクリエーション」「ユニバーサルデザイン」の視点におけるまちづくりは、区内全域で重点的に推進するものとします。

# 2 江東湾岸エリアの目指すべき都市像 / 3つのゾーンと目標

## 目指すべき都市像

江東湾岸エリアの「目指すべき都市像」を下記のように定めます。

### 目指すべき都市像

- オリンピック・パラリンピック競技場を中心に、区民の日常スポーツから世界の強豪が集う国際大会まで、スポーツを存分に堪能できる **国際スポーツ都市**を目指します。
- オリンピック・パラリンピック開催を契機として、世界中の人々が安心して滞在し、万が一の場合にも安全に過ごせる **先進防災都市**を目指します。
- 江戸時代から続く伝統とオリンピック・パラリンピックから始まる未来が織りなす新しい文化を発信する **国際観光都市**を目指します。

## 3つのゾーンと目標

江東湾岸エリアは更に大きく3つのゾーンに分けられ、各ゾーン特性に合わせて「目標」を設定しています。

### 有明北・有明南・豊洲地区

#### 「国際居住・観光ゾーン」

誰もが居住、教育、医療を享受できる、東京で最も安全なまちを目指すとともに、水辺に隣接する環境を生かした居住施設や魅力あふれるエンターテインメント、情報発信の機能を提供します。

### 辰巳・夢の島・新木場地区

#### 「スマートな環境エネルギーゾーン」

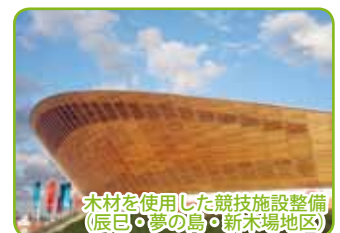
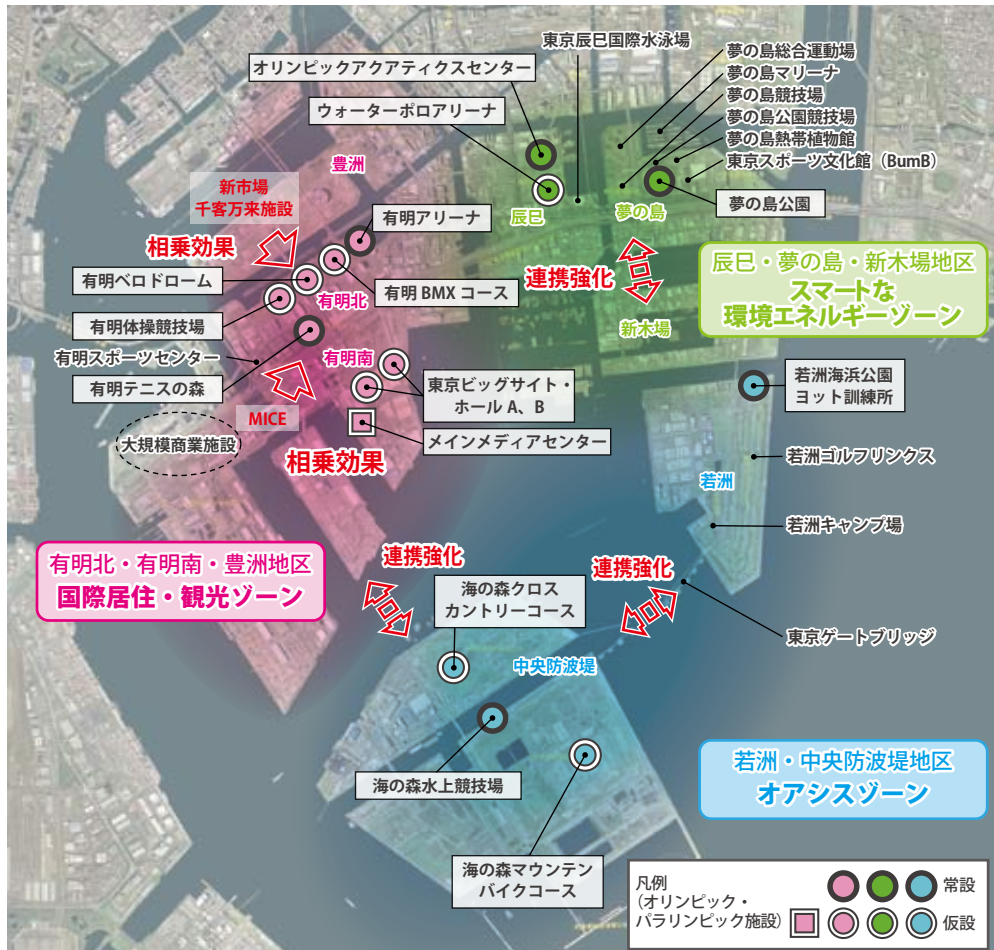
新木場に代表される、本区の伝統でもある木材の利用を推進することで循環型社会の構築を図り、辰巳・夢の島ではスポーツの中心地として、新たな伝統を育くみます。

### 若洲・中央防波堤地区

#### 「オアシスゾーン」

屋外スポーツやレジャーの拠点として、交通ネットワークの充実を図り、都心近傍で豊かな自然を感じられるパークエリアを目指します。

## 3つのゾーンと競技場の配置



※この図に示すオリンピック・パラリンピック施設は、平成27年6月1日現在のものです。今後、配置や内容等に変更が生じる場合があります。

※夢の島公園、海の森水上競技場、海の森クロスカントリーコース、有明操縦競技場、有明テニスの森、有明アリーナはIOC理事会が会場計画を了承しています。

# 3 江東湾岸エリアの10の視点とその方針

## 10の視点とその方針

土地利用

### 視点1. 土地利用 複合市街地の魅力を楽しめるまち

- 3つのゾーンが連携し、魅力を高める江東湾岸エリアを目指します
- オリンピック・パラリンピックレガシーを生かしたまちづくりの効果を区内に波及させていきます
- 都市計画提案制度を積極的に活用したまちづくりを推進します



防災

### 視点6. 防災 東京で一番安全・安心なまち

- 高い防災機能を備えたオリンピック・パラリンピック施設を整備するとともに、災害時にも都市機能が継続する持続可能なまちをつくります
- 地区内の防災ネットワークの強化を推進します
- 自助、共助、公助の組み合わせによる地域防災力・復興力の向上を図ります



みどり

### 視点2. みどり CIGを先導するまち

- 江東湾岸エリア内のみどりのネットワークの強化を行います
- 人々が触れ合うことの出来る大規模な緑地空間を創出します
- みどりを守り、親しむCIGの文化を育みます



環境・エネルギー

### 視点7. 環境・エネルギー 最先端のスマートコミュニティを目指すまち

- スマートエネルギーネットワークの形成を推進します
- 再生可能エネルギー・省エネルギー設備、エコマテリアルの導入を促進します
- 先進的な環境技術の導入を推進します



水辺

### 視点3. 水辺 水辺と日常生活がともにあるまち

- 緑と一体となった水辺空間のネットワーク化と運河に向けたまちづくりを進めます
- 区民や来訪者が憩い、楽しめるきれいな水辺づくりを推進します
- 水辺周辺の賑わいを創出する多様な活動に取り組みます



スポーツ・レクリエーション

### 視点8. スポーツ・レクリエーション 世界を魅了するスポーツのまち

- 江東区にある国際水準のスポーツ施設やその運営能力を世界へ発信します
- レガシーを生かしながら、スポーツが地域と結びついたまちを目指します
- スポーツにより身近に健康増進が図れるまちとします



歴史文化観光

### 視点4. 歴史・文化・観光 伝統と未来をつなぐスポーツ観光のまち

- 木材産業の伝統とその歴史を生かしたまちを世界に発信します
- 文化・観光情報の発信拠点をつくります
- スポーツ施設やイベントをはじめとする多様な観光資源を活用した国際観光都市を目指します



交通

### 視点9. 交通 多様な交通手段が確立されたまち

- オリンピック・パラリンピックレガシーとして、安全で円滑な輸送の実現を目指します
- 南北方向の交通網を整備し、区内の骨格となる交通軸の分断解消を目指します
- 区内や周辺地域との連携を高めるとともに周遊活動を支えるための交通システムの導入を検討し、交通ネットワークの確立を目指します



景観

### 視点5. 景観 景観がブランドとなるまち

- 豊かな水辺景観や自然資源等の景観の活用を推進します
- 来訪者が美しい景観を楽しむことの出来る場を創出します
- 江東区の歴史・文化を生かした景観の形成を推進します



UD

### 視点10. ユニバーサルデザイン 先進的なユニバーサルデザインを推進するまち

- すべての人のニーズを反映し自由で円滑な移動ができる環境づくりを進めます
- 競技施設や公園などを誰もが迷わず円滑に利用できる環境を実現します
- 個性・共通性・連続性に配慮した統一的な案内により、すべての人に分かりやすい情報提供を実現します



# 4 区内全域への波及効果

## オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくりの考え方

### 江東湾岸エリアには以下の効果が期待できます

- 交通インフラ等の整備による利便性・回遊性の向上
- 観光施策の推進や情報発信等による区内外からの観光客の増加
- 地区の特性を生かしたまちづくりの推進
- 性別・年齢・障害の有無に関わらず、多様な区民や来訪者の相互交流による、新たな文化・新たな魅力の創造
- 低炭素社会づくりの推進
- スポーツ環境の向上と区民のスポーツに対する気運の醸成

### オリンピック・パラリンピックレガシーを南北都市軸の強化により区内全域に展開します

地下鉄8号線（豊洲～住吉間）の延伸や、路線バスの充実、水上交通ネットワークの強化等を行い、本区内の回遊性を向上させるとともに、適切な土地利用や必要な都市機能を導入して区内全域でバランスのとれたまちづくりを推進します。

これにより、区民の南北方向の移動が活発となり、今後増加する江東湾岸エリアへの来訪者を深川・城東エリアの観光名所へ誘導することができ、区内経済が活性化します。スポーツに親しめる環境づくりに寄与し、スポーツに対する気運を醸成します。



南北都市軸強化のイメージ

## 深川・城東エリアへの波及効果の活用

### 江東湾岸エリアのまちづくりによる効果を広げていくための取り組み

深川・城東エリアでは10の視点に基づき、下記に例示する取り組みを推進することで、江東湾岸エリアのまちづくりによる効果を区内全域へ波及させていきます。

歴史資源・地域資源を生かしたまちづくりを推進します



水辺とみどりを結び、回遊を促進します



下町のにぎわいと文化を発信する機能を高めます



地域の周遊観光を支える機能の充実を推進します



商業・業務の集積を支える駅周辺の都市機能の強化を進めます



地下鉄8号線（豊洲～住吉間）の延伸をはじめとする区の南北・東西を結ぶ交通ネットワークの強化・交通結節機能の強化を推進します



安全・安心で住み続けられる先進的な居住環境を創出します



低炭素社会のモデルとなる交通システムを誘導します

